



## 幸小学校の教育目標（目指す子ども像）

○自分で考え、行う子ども（重点） ○ねばり強くやり抜く子ども ○なかよく力を合わせる子ども ○心と体をきたえる子ども

—見つめ 気づき かかわって つなげる—  
幸小学校の学校経営の推進

※◆印の短期的な目標と重点方針に関するアンケートで、肯定的な回答を8割以上を目指す。

※●印は最重点方針 ◎印は重点方針。

目指す学校像	長期的な目標 (教育目標等)	短期的な目標	具体的方策の方向性	
子ども、保護者、地域、 そして教職員にとって 「今日が楽しく 明日が待ち遠しい学校」 —ネットワーク型学校経営の推進—	確かな学力の向上 自分で考え行う子ども 【課題解決力の向上】	◆以下3つの力の向上を図る ○課題意識をもつ力 ○根拠を明確して、考え・表現する力 ○比較・検討付ける力 ○統合的・発展的に考える力	●思考力・表現力を育成する授業展開の工夫 ・既習事項の定着・活用 ・図表グラフ等の資料の活用 ・グループ・ペア学習（共有）の重視 ・比較関連させる場の設定 ・ことバンクの活用 ・課題意識（問い）をもたせるための導入の工夫 ・一単位時間の学習の流れの徹底（特にまとめの時間）	○朝学習や補習学習の充実 ○家庭学習の充実
	ねばり強く やりぬく子ども 【主体性の向上】	◇以下3つの力の向上を図る。 ○めあて達成意識をもって取り組む力 ○自らの学習状況を振り返る力 ○自らの学習を調整して学ぶ力	◎自分自身を振り返り次につなげていく取組の重視 ・課題意識（問い）をもたせるための導入の工夫【再掲】 ・一単位時間の学習の流れの徹底（特にまとめの時間）【再掲】 ・自己評価の重視	
	ゆたかな心の向上 なかよく 力を合わせる子ども 【ゆたかな心の向上】	○自己肯定感を高める力の向上を図る。 ◆8つのゆたかな心の向上を図る。 (ほめる・励ます・声をかけ相談する・協力する・謝る・感謝する・見守る・許す)	◎自分たちのよさを自覚し発揮し認め合える場の設定 ◎自分自身を振り返り次につなげていく取組の重視【再掲】 ○幼保・小中連携教育の推進 ●人に対する「ゆたかな心」の育成に向けた取組の充実 ◎一人一人の子どもを大切に特別支援教育の推進 ・必要とする支援 ・組織的な対応 ・関係機関との連携 ・ユニバーサルデザインを意識した環境整備 ◎幸小生活スタンダードの徹底	○学校や地域を生かした環境教育の推進 ○地域の教育資源を生かした立川市民科の推進 ○幸小SNS宣言の推進
	健康な体の向上 心と体をきたえる子ども 【健やかな体の向上】	○自分の状況に応じて、進んで運動し、体力を高め、健康で安全な生活を送ることができる能力を育成する。	◎オリンピック・パラリンピック教育の取組の推進 ・体力テスト ・一校一取組（学級）取組 ・めあて学習の重視 ・運動する楽しさの体得 ・基本的な生活習慣や食習慣の改善・充実	○自分の身は自分で守る方法の指導の徹底
	組織的な 学校経営の推進 【組織的な学校経営の推進】	○教職員が指導力を磨き、仕事の重点化・焦点化を意識し、組織的な学校経営を推進する。	◎指導力を高める校内OJTと校内研究の充実 ◎学校評価に基づいた教育活動の改善・充実 ◎課題に応じた迅速で組織的な提案型の学校経営の推進 ・経営会議を要とした学校経営の推進 ・校務改善の推進 ●時間と仕事の進め方を意識した働き方改革の推進 ・時間の意識・厳守 ・会議の精選と効果的運営 ・仕事の重点化・焦点化の意識の高揚 ・当たり前の見直し ・柔軟でバランス感覚のある思考力の向上	○危機管理意識の高揚と組織的な対応 (いじめ・不登校・アレルギー・防災・防犯・施設・事故等) ○情報共有・校内OJT・リフレッシュ・外部対応の拠点となる機能的な職員室等の充実 ○チーム幸小としての取り組む活動の重視
地域に根ざした学校づくり	◆学校・家庭・地域が連携・協働し「共育」の拠点となる、地域に根ざした学校づくりを推進する。 【地域との協働体制の強化】 ◆保護者・地域と双方向の関係を重視し、信頼される学校づくりを推進する。 【地域との双方向の関係の充実】	◎コミュニティスクールの体制強化・充実 ◎地域の教育資源を生かした立川市民科の推進【再掲】 ◎学校・家庭・地域が連携した取組の充実 ◎学校からの通信や保護者会、ホームページ等の充実 ◎公務員としての厳正な服務・服装・振る舞い・言動の意識 ○相手の立場を踏まえて親身になった対応 ○根拠を明確にして説明責任を意識した対応	○個性・もち味を生かした経営の推進 ○活用しやすい学校施設の環境整備 ○地域行事への積極的な参加	